

10月

高社

やまもと
やなえぶゆめ

小泉小学校だより

令和7年9月29日

(No.7)

「だめ！」よりも「どうするとよい？」と聞きたい 規範意識を身に付けるために、大人ができることは？

夏休みも終わってしまう最後の週末、私は名古屋にいました。大きな交差点近く、街路樹から伸びた日陰に立ち、汗をふきふき信号が変わるのを待っていました。30代ぐらいの男性二人組が近くにいて、一人がペットボトルのお茶を飲みましたと思ったら、そのペットボトルを、ポーンと道路角の茂みにほうったのです。私は、ポカンとしてしまいました。信号が変わり、その二人組は何事もなかったかのように、すたすた歩きだしました。私は、捨てられたペットボトルを拾い上げ、その二人の後を追いかけて、後ろから肩をポンポンとたたきました。「これ、落としましたよ！」…なんてこと、なかなかする勇気もなく…。もやもやした気持ちで横断歩道を渡りました。帰りは帰りで、信号待ちの時、前に止まっていた車の窓から手がにゅっと伸び、タバコがはいと捨てられました…。

こんな時、ドラえもんがいてくれたらなあ。ドラえもんに頼んで、「落とし物カムバックスプレー」を出してもらい、捨てたものに吹かければ、捨て主のところにカムバックしていくのに…。置き去りにされたたくさんのごみや、不法投棄物などを目にするたび、こんなことを考えてしまいます。



「規範意識」が身に付いていない、生かされていない、ということなのでしょう。では、規範意識とは？

「規範意識」とは、「みんなが気持ちよく過ごすためのルールを守ろうとする心」

学校では、実に様々な場面で、この「規範意識」を身に付けることができるように、学び、働きかけています。例えば、「学校のあいさつ」だと、「お互いにあいさつを交わすことで、気持ちが元気に」なりますし、「順番を守る」ことと言えば、「きちんと列に並び、順番を守ることではけんかにならない」ことを学びます。「スリッパを揃える」ことだと、「次に使う人が気持ちよく使えるように」するためです。さらに、「困っている友達に声をかける」ということも、「相手のことを気遣う、心配する気持ち」であり、ルールを守ろうとする心につながっていくと思います。



学校でもご家庭でも、気持ちを一つにして関わることで、「規範意識」は育ち、高まると考えます。小学校までに身に付けた「規範意識」は、子どもたちの将来を決めるといっても過言ではありません。

1 家庭内でもルールを決めて守る習慣をつける

→「ごはんの前に手を洗う」「ゲームは〇時まで」など、日常の中で規範意識を育てます。

2 子どもの行動を理由とともに説明する

→「順番を守ると、みんなが気持ちよくなるよ」と、行動の意味を伝えることが大切です。

3 親自身がルールを守る姿を見せる

→信号を守る、あいさつをするなど、親の行動が子どもの手本になります。

4 家族で話し合う時間を持つ

→「今日、学校でこんなことがあったよ」と話すことで、考える力が育ちます。

5 失敗したときも責めずに一緒に振り返る

→「どうすればよかったかな？」と優しく問いかけることで、次に活かせるようになります。

私たちも、様々な場面で声をかけ続けていきます。保護者の方のお力添えもぜひお願いします。

10月行事予定			下校時刻	11月行事予定			下校時刻
1	水	■ALT来校 ■学校司書来校 記名の日(筆箱の中身)	①14:10 ②⑥15:00	1	土		
2	木	(13年)歯科指導 後期委員会決め 栄養教諭実習生研究授業(第3校時)	①③14:40 ④⑥15:30	2	日		
3	金	■学校司書来校 教育長訪問	①②14:10 ③⑥15:00	3	月	文化の日	
4	土			4	火	■ALT来校 記名の日(上着、ジャージ) 人権ひびきあい月間(11月) あいさつで絆の日② 中部大生来校(学校ボランティア)	①③14:40 ④⑥15:30
5	日			5	水	■学校司書来校 ■S相来校 朝活:委員長認証式 図書館審査15:10	15:00
6	月	■学校司書来校 (135年)歯科指導②3-3、3-2、5-1 ③3-1、3-4	①②14:10 ③⑥15:00	6	木	■ALT来校 ■SSW来校 学校運営協議会 授業参観 (4～6年)第6時:クラブ⑧	①③14:40 ④⑥15:30
7	火	■ALT来校 昼休み:通学班長・副班長会③ (4～6年)第6時:クラブ⑦ 前期会計監査	①③14:40 ④⑥15:30	7	金	■学校司書来校 PTA本部役員会19:00	①14:00 ②③15:00 ④⑥15:50
8	水	■ALT来校 ■学校司書来校 ■S相来校 (2年)一日校外学習(アクア・トト岐阜など)	①14:10 ③⑥15:00	8	土	(全校)PTA参観 第2時:123年授業参観「いのちの授業」 第3時:456年授業参観「情報モラル講演会」	11:55 班別
9	木	■ALT来校 (全校)第3時:命を守る訓練(地震) PTA本部役員会⑥	①③14:40 ④⑥15:30	9	日		
10	金	■学校司書来校 【特別日課(前期終業式)】4時間授業 (全校)第3時:前期終業式 班別下校:前後期の引継ぎ(グラウンド)	13:50班別	10	月	振替休業日(11/8)	
11	土			11	火	■ALT来校 ■学校司書来校 通学班長会 (5・6年)第6時:委員会(後期③) 中部大生来校(学校ボランティア)	①④14:40 ⑤⑥15:30
12	日			12	水	■ALT来校 ■学校司書来校 就学時健診13:00受付開始 ※給食なし	11:25 班別
13	月	スポーツの日		13	木	■SSW来校	①②14:40 ③⑥15:30
14	火	■ALT来校 ■SC来校 (全校)第1時:後期始業式 (1年)月金4時間授業、火水木5時間授業開始 (2年)金5時間授業開始 (3年)木6時間授業開始 (4年)金6時間授業開始 (56年)第6時:委員会(後期①) 中部大生来校(学校ボランティア)	①③14:40 ④⑥15:30	14	金	■学校司書来校 第3時:命を守る訓練(不審者対応)	①14:10 ②③15:00 ④⑥15:50
15	水	■ALT来校 ■学校司書来校	15:00	15	土		/
16	木	■ALT来校 (5年)第3・4時:防災・減災授業(DIG) CS②防災・減災教育推進委員会 小泉中生職場体験①	①②14:40 ③⑥15:30	16	日		/
17	金	■学校司書来校 (15年)歯科指導(行1)②1-1、1-2、1-3 ③5-2、5-3、5-4 小泉中生職場体験②	①14:10 ②③15:00 ④⑥15:40	17	月	■学校司書来校	①②14:10 ③⑥15:00
18	土			18	火	■SC来校 中部大生来校(学校ボランティア)	①③14:40 ④⑥15:30
19	日	(PTA)資源回収②		19	水	■ALT来校 ■学校司書来校 (1・2年)連れ去り防止講座	15:00
20	月	■学校司書来校 ◎ありがとう週間～10/24 ペア遊び③ 掃除カット	①②14:10 ③⑥15:00	20	木	■ALT来校 ■SSW来校 (4年)第1～4時:車いす体験(体育館) ハイパーQU②	①②14:40 ③⑥15:30
21	火	■ICT教育推進員来校 (1年)一日校外学習(東山動植物園) (56年)第6時:委員会(後期②) 中部大生来校(学校ボランティア)	②④14:40 ⑤⑥15:30	21	金	■ALT来校 ■学校司書来校 (5年)自然の家合宿1日目(春日井)	①14:10 ②③15:00 ④⑥15:50
22	水	■学校司書来校 にこにこ挨拶運動 (3年)スーパーマーケット見学	15:00	22	土	(5年)自然の家合宿2日目(春日井)	
23	木	■ALT来校 観劇会(123年)③④、(456年)⑤⑥	①②14:40 ③⑥15:30	23	日	勤労感謝の日	
24	金	■ALT来校 ■学校司書来校 (4年)第2・3時:ポッチャ事前授業(体育館) (3年)スーパーマーケット見学予備日	①14:10 ②③15:00 ④⑥15:40	24	月	振替休日	
25	土	資源回収予備日		25	火	(5年)振替休業日 中部大生来校(学校ボランティア)	①③14:40 ④⑥15:30
26	日	23区コミュニティスポーツ大会(小泉小運動場は 駐車場として使用)		26	水	■学校司書来校 【特別日課(多治見市教育課題研)】南姫小 【特別日課 4時間授業】	13:20 班別
27	月	■ALT来校 ■学校司書来校	①②14:10 ③⑥15:00	27	木	■ALT来校 ■SSW来校 (4年)一日校外学習(美濃和紙の里会館など)	①②14:40 ③⑤⑥15:30
28	火	■ALT来校 ■SC来校 (6年)修学旅行1日目 中部大生来校(学校ボランティア)	①③14:40 ④⑤15:30	28	金	■ALT来校 ■学校司書来校(研修) ペア遊び③ (5・6年)第6時:委員会	①14:10 ②④15:00 ⑤⑥15:50
29	水	■学校司書来校 (6年)修学旅行2日目	15:00	29	土	小中合同ヤシロン祭り	
30	木	(4年)第3～6時:ポッチャ交流会(体育館) (6年)4時間授業 13:20下校	①②14:40 ③⑤15:30 ⑥13:20	30	日		/
31	金	■ALT来校 ■学校司書来校	①14:10 ②③15:00 ④⑥15:40				

カラダの実感とスキンシップ

親育ち4363たじみプラン事務局

低いところをくぐるとき、自然に首を引っ込める。全力で走っていく先に、人や物を見つけたとき、ぶつかる手前で速度を落とす。体を傾けすぎたとき、転倒する手前で、傾きをもどす。私たちは、これらを半ば無意識に行います。それは、私たちが、自分の体の大きさや輪郭、傾き、力の入り具合等と、感覚として把握できているからです。

身体能力が高いのに、頻繁にけがをする。体力はあるのに、姿勢がなかなか保たれない。積極的でリーダーシップを発揮する反面、苦手な場面では「めんどう」「意味ない」等の言葉で、物事をあきらめてしまう。そうした様相を示す子の背景に、この感覚が育ち切っていない可能性があり、そうした「カラダの実感」を培う有効な方法は、信頼する保護者に抱きしめられることなのだと、若い日、ある心理学者の講演から学びました。

残暑も和らぎ、自然も、子どもたちの心身も、豊かに実る秋が深まります。中学生にハグは抵抗があるかもしれません。しかし、発達段階に応じた、ご家族との適切なスキンシップは、多治見の子どもたちの「カラダの実感」と、ご家族との愛着を深め、自分だけの次の一步に、その子が安心して挑戦できる体と心を培うと信じます。

(教育推進課 家庭教育担当)